

# 健康通信

## 乳房再建をお考えの皆様へ



形成外科 医師  
亀水 優子

### 乳房再建術とは

乳房再建術は、乳がんの手術によって失われた乳房の形態を新しく作り直す手術です。

乳腺外科医による乳がんの手術の後、形成外科医によって行われます。シリコンインプラントによる再建が保険適応になってから、当院でもインプラントによる乳房再建が多く行われています。

### 手術のタイミング

手術のタイミングには以下の方法があります。  
一次再建：乳がんの手術と同時に行う方法  
二次再建：乳がんの手術後に後日再建手術を行う方法

再建手術を行う方法

おなかの皮膚、脂肪、筋肉の一部に血管をつけた状態で取り出し、胸に移植する方法です。手術時間は6～10時間程度必要となり、入院期間も2週間程度必要となります。妊娠、出産を予定している方には適しません。

【広背筋皮弁法】  
背中の皮膚、脂肪、筋肉の一部に血管をつけた状態で胸に移植する方法です。比較的小さな乳房を再建するのに適しています。

●インプラントによる再建(図1)  
乳がん手術後にティッシュ・エキスパンダーを挿入します。一次再建では乳がん手術と同時に挿入します。その後1～6カ月かけて生理食塩水を注入し胸部の皮膚とその周囲組織を拡張します。その後エキスパンダーとインプラントの入れ替えを行います。エキスパンダーやインプラントはそれぞれの患者さんに合った大きさを選択します。合併症については、人工物を挿入するため、感染症を起こすことがあります。その場合は取り出してから再度手術が必要となります。また、

### 手術の方法

一次再建は二次再建よりも手術回数が少ないメリットがある一方で、再建方法についてじっくり考える時間が少ないデメリットもあります。

手術方法には、大きく分けて二種類の方法があります。自身のおなかや背中の組織(自家組織)を使用する方法とインプラント(皮膚組織拡張器とシリコン製人工乳房)による方法があります。どちらの方法も健康保険が適応されます。それぞれの方法についてご紹介します。

●自家組織による再建  
【腹直筋皮弁法】

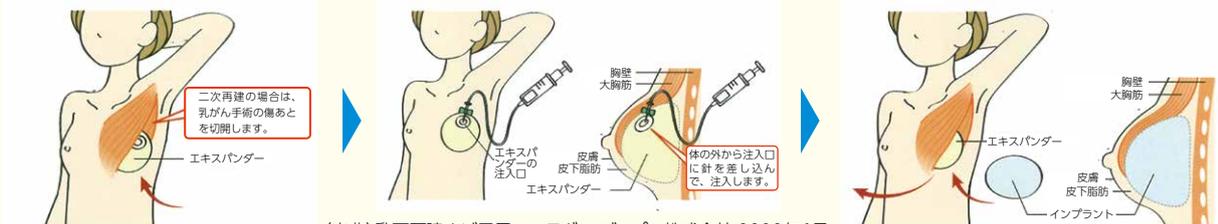
再度手術が必要となります。また、

ブレストインプラント関連未分化大細胞リンパ腫(B-I-A-A-L-C-L)というリンパ腫を発症する可能性があります。この疾患は主に表面の性状がザラザラなインプラントを使用した症例で発生します。現在はスムーズタイプ(表面がつるつるの性状)や、マイクロテクスチャードタイプ(表面の性状がザラザラで凸凹が浅く表面積が小さいタイプ)のインプラントを使用しています。術後はインプラントの破損や合併症の発見のために2年に1度の画像検査を行っています。

乳房再建の希望がある、または考えてみたいと思われる患者さんは乳がん手術前に乳腺外科の担当医に一度相談してみてください。  
また、乳がん手術が終わった後に、乳房再建の話聞いてみたい場合にもぜひ相談してください。乳腺外科の担当先生、あるいは形成外科医に直接相談されても良いです。

乳がんの治療の状況によっては乳房再建ができないことがあります。当院ではそれぞれの治療のメリット・デメリットを説明し、患者さんに合った再建方法を一緒に選択していきます。

(図1)



(出典)乳房再建ナビ冊子 アラガン・ジャパン株式会社:2020年6月